

SDG(ソーシャル・ディスタンス・ゲーム)で子どもの運動量確保 ～コロナ禍での体育授業改善～

令和2年6月～ 毎週火曜日、午後1時45分～午後2時30分

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、学校教育活動の充実を図るべく、教職員が新しい体育活動を考案しました。その名もSDG(ソーシャル・ディスタンス・ゲーム)です。「3密回避」・「運動量確保」・「簡単ルール」の三拍子そろった体育ゲームに、子どもたちも夢中になって取り組んでいます。



- ・笠間市立稲田小学校の大谷修児教諭が考案したこのゲーム(SDG/ソーシャル・ディスタンス・ゲーム)は、コロナ禍で運動不足になっている子どもたちのために作られました。3密を避けながら、楽しく、安全に、思いっきり運動できるよう工夫されたゲームです。
- ・ルールは簡単で、グラウンドに描かれた丸・四角・三角の図形の中に、先生の指示に従って入るゲームです。1つの図形の中には、一人しか入れない約束をしているので、子どもたちは、駆け足で指示された図形目指して走っていきます。それぞれの図形は2m以上の間隔で描かれているため、子どもたちは密集することなく運動することができます。体育授業のウォーミングアップとして行ったり、ルールを追加してゲーム性を高めて楽しんだりすることができます。

日時 毎週火曜日の5校目(午後1時45分～午後2時30分)
場所 笠間市立稲田小学校校庭
内容 体育授業「ウォーミングアップ」や「体づくり運動」
指導者 第3学年担任(根本典子教諭・大谷修児教諭)
児童 3年1組(22名)及び2組(22名)の児童(計44名)

※ SDG(ソーシャル・ディスタンス・ゲームの様子は、「笠間チャンネル(動画配信サービス)」にも掲載予定です。)

この件に関するお問い合わせ

笠間市教育委員会 学務課 担当:青木 真樹子

電話番号:0296-77-1101(内線379) ファックス番号:0296-78-1023 e-mail:gakumu@city.kasama.lg.jp